

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 農業 科目 草花

教 科： 農業 科 目： 草花 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版 草花 ）

教科 農業 の目標：

単元の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている

【主体的に学習に取り組む態度】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	草花の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する能力を身に付ける。	草花生産が人々の生活を豊かにする素材を提供する社会的な役割を担っていることに関心を持ち、生産の楽しさ、経営の面白さを自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	2章1：生活と草花の利用 6章：花壇用草花生産 【知識及び技能】 ・草花の生活における意義を理解する ・花壇苗生産における鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができる	・指導事項 2章-1：草花の多面的利用 ①草花利用の意義 ②草花の利用 ③ヒューマンサービスと草花 6章2-①：花壇用草花の種類と特性 ①花壇苗用草花の種類 ②栽培特性と管理 ・教材 教科書・プリント・教材植物 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・草花の生活における意義を理解しているか ・花壇苗生産における鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付けられたか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができたか	○	○	○	14
	定期考査						
	3章1-②：草花の種類 6章：花壇用草花生産 【知識及び技能】 ・生産園芸と社会園芸、ヒューマンサービスに分野における草花の利用を理解する ・花壇苗生産における鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付ける（マリーゴールド/サルビア/パチュニア） 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができる	・指導事項 1章1-②：草花の種類 ①植物学的分類と園芸学的分類 6章2-②：花壇用草花の栽培管理 ①セル成型苗の栽培 ②病害虫対策 ③出荷 ④栽培の評価 ・教材 教科書・プリント・教材植物 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・生産園芸と社会園芸、ヒューマンサービスに分野における草花の利用を理解しているか ・花壇苗生産における鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付けられたか（マリーゴールド/サルビア/パチュニア） 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができた 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができたか	○	○	○	14
2 学 期	定期考査			○	○		1
	1章：草花園芸の特徴 6章：花壇用草花生産 【知識及び技能】 ・各種草花の生産形態を理解する ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができる	・指導事項 1章1-③：草花の生産形態 ・切り花/鉢もの/種苗/球根/ 花壇苗 ・教材 教科書・プリント・教材植物 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・各種草花の生産形態を理解しているか ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付けられたか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができたか				14
	定期考査						
3 学 期	3章4：生産施設と栽培環境の調節 6章：花壇用草花生産 【知識及び技能】 ・生産施設と栽培環境の調節を理解する ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付ける（パンジー/ハボタン/カーネーション） 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができる	・指導事項 3章4：生産施設と栽培環境の調節 ①施設の機能・構造とその利用 ②環境調節設備の利用 ③複合環境制御 6章：花壇用草花生産 パンジー/ハボタン/カーネーション ・教材 教科書・プリント・教材植物 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・生産施設と栽培環境の調節を理解しているか ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付けられたか（パンジー/ハボタン/カーネーション） 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができたか				14
	定期考査						1
	3章3-②草花の栽培管理 6章：花壇用草花生産 7章：切り花生産 【知識及び技能】 ・草花の栽培管理を理解する ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付ける（キンギョソウ/ スターチス/ストック/チューリップ/スイセン） 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができる	【知識及び技能】 ・花壇用草花・切り花の栽培を理解しているか ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付けられたか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができたか	【知識及び技能】 ・花壇用草花・切り花の栽培を理解しているか ・鉢上げ・鉢替え・追肥・摘蕾・摘花・病害虫防除・切り戻し・出荷調整の技術を身に付けられたか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理方法を選択すること、説明することができたか 【学びに向かう力、人間性等】 ・草花の生産に主体的かつ、クラスメイトと協働的に取り組むことができたか				11
3 学 期	定期考査			○	○		1

单位数： 3 单位

使用教科書：（寒教出版「野菜」「草花」、「果樹」

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・農具、農機具の安全な使い方を理解し実習できる。 ・鉢上げ用の用土をつくることができる。 ・トマト、キュウリ、ナシの苗管理ができる。 ・ナシやウメなどの良果生産ができる。	・園地内の草刈り ・用土づくり ・夏野菜苗の管理 ・果樹の管理	・単元の理解度、技術 ・実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） ・レポート	○	○	○	13
	定期考査			○			1
	・摘果の目的、方法について理解し実習を行うことができる。 ・植栽の準備を行うことができる。 ・トマト、ナス、キュウリの誘引と仕立てをすることができる。	・摘果実習 ・花壇材料の管理 ・夏野菜の管理実習	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	13
	定期考査			○			1
2 学 期	・果実の収穫、調整 ・花壇材料の管理 ・秋野菜の管理	・果実の収穫、調整 ・花壇材料の管理 ・秋野菜の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	13
	定期考査			○			1
	・果樹の樹勢を把握して、土壌管理ができる。 ・鉢替えをすることができる。 ・葉菜類、根菜類の収穫期を判断して収穫することができる。	・果樹の施肥、深耕 ・鉢花管理 ・野菜の収穫	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	13
	定期考査			○			1
3 学 期	・果樹の樹勢を把握して、せん定ができる。 ・草花温室の片付けができる。 ・栽培後の畑の管理ができる。	・果樹のせん定 ・温室の管理 ・野菜圃場の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	13
	定期考査			○			1
備考：他1単位（総合実習B）を時間外で35時間行う。							合計
							70

都立農芸 高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科

農業

科目 農業と環境

教 科： 農業

科 目： 農業と環境

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版 農業と環境 ）

教科 農業

の目標：

【知 識 及 び 技 能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 農業と環境

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・農業生物の育成と環境の保全について体験的・探求的な学習を通して、基礎的な知識と技術を身に付ける。	・植物の特性や生産に適した環境を理解するとともに、科学的思考力と課題解決能力を身に付ける。	・農業の生産は人々の生活や暮らしの基盤を支えるものであること、環境の保全は自然を持続的に守ることにつながることに気づき、農業の果たす役割に興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章1：農業学習とは何か 4 章3：トウモロコシの栽培と利用 4 章4：ダイズの栽培と利用 【知識及び技能】 ・農業は生物が相手であることを理解する ・地域環境を理解して農業を営むことを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境を学ぶための心構えを身に付ける態度を養う	・指導事項 1 章-1：農業学習とは何か ①生物を育てる学習 ②環境を調べる学習 ③農業と環境のかかわり ④農業と環境について学ぶ大切さ 4 章3：トウモロコシの栽培と利用 ①トウモロコシとは ②課題設定と栽培計画 4 章4：ダイズの栽培と利用 ①ダイズとは ②課題設定と栽培計画 教材： 教科書・プリント・植物・PC	【知識及び技能】 ・農業という産業の意義を理解しているか ・自然環境・地域環境を理解して栽培できているか ・播種の方法や種類、正しい播種ができるか ・植物の名称が分かるか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境を学ぶための心構えを、主体的・積極的に身に付けられたか	○	○	○	12
	1 章2：農業と環境の学び方 4 章3：トウモロコシの栽培と利用 4 章4：ダイズの栽培と利用 【知識及び技能】 ・農業学習の特徴を理解する ・プロジェクト学習とは何か、どのように課題を設定するか理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境を学ぶための心構えを身に付ける態度を養う	・指導事項 1 章-2：農業と環境の学び方 ①農業学習の特徴 ②プロジェクト学習とその流れ 4 章3：トウモロコシの栽培と利用 ③栽培の実際 ④トウモロコシの利用 4 章4：ダイズの栽培と利用 ③栽培の実際 ④ダイズの利用 教材： 教科書・プリント・植物・PC	【知識及び技能】 ・農業分野の学習の特徴を理解しているか ・プロジェクト学習の意義を理解しているか ・間引きの方法や目的、正しい間引きができるか ・支柱立て、誘引の目的を理解して、正しい作業ができるか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境の学習目的を理解し主体的・積極的に学習に取り組んでいるか	○	○	○	16
	1 章3：学校農業クラブ活動 4 章3：トウモロコシの栽培と利用 4 章4：ダイズの栽培と利用 【知識及び技能】 ・農業クラブの三大目標を理解する ・農業クラブの組織と活動を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境を学ぶための心構えを身に付ける態度を養う	・指導事項 1 章-3：学校農業クラブ活動 ①学校農業クラブ活動の目標 ②学校農業クラブの組織と活動 4 章3：トウモロコシの栽培と利用 ③栽培の実際 ④トウモロコシの利用 4 章4：ダイズの栽培と利用 ③栽培の実際 ④ダイズの利用 教材： 教科書・プリント・植物・PC	【知識及び技能】 ・農業分野の学習の特徴を理解しているか ・プロジェクト学習の意義を理解しているか ・中耕・追肥・土寄せの目的、正しい方法を理解して作業できているか ・収穫期を見極めて、適切な時期に作業できているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境の学習目的を理解し主体的・積極的に学習に取り組んでいるか	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2 章1：人間と植物・動物とのかかわり 4 章7：ハクサイの栽培と利用 4 章8：ダイコンの栽培と利用 【知識及び技能】 ・動植物の生命活動、生物間のつながり、生物のからだを構成する物質の循環について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境を学ぶための心構えを身に付ける態度を養う	・指導事項 2 章-1：人間と植物・動物とのかかわり ①太陽エネルギーを地球にとどめる 植物 ②生物の生命活動のエネルギー ③生物の世界のつながり ④とぎれることのない物質のつながり ⑤私たちをとりまく環境 4 章3：ハクサイの栽培と利用 ①ハクサイとは ②課題設定と栽培計画 4 章4：ダイコンの栽培と利用 ①ダイコンとは ②課題設定と栽培計画 教材： 教科書・プリント・植物・PC	【知識及び技能】 ・太陽の光エネルギーを利用して生命を営んでいることを理解しているか ・生体は物質循環により維持されていることを理解しているか ・ハクサイの種類と結球の形態を理解しているか ・正しい播種が発芽適温を理解して、適切な時期に作業できているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境の学習目的を理解し主体的・積極的に学習に取り組んでいるか	○	○	○	16
	2 章1：人間と植物・動物とのかかわり 4 章7：ハクサイの栽培と利用 4 章8：ダイコンの栽培と利用 【知識及び技能】 ・地形による生態系の特徴や課題と生態系保護の必要性を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境を学ぶための心構えを身に付ける態度を養う	・指導事項 2 章-1：人間と植物・動物とのかかわり ⑥森林の生態系の構造と働き ⑦水辺の生態系の構造と働き ⑧農耕地の生態系の構造 ⑨都市の生態系 ⑩身近な野生生物の保護 4 章3：ハクサイの栽培と利用 ③栽培の実際 ④ハクサイの利用 4 章4：ダイコンの栽培と利用 ③栽培の実際 ④ダイコンの利用 教材： 教科書・プリント・植物・PC	【知識及び技能】 ・森林・水辺・農耕地・都市の各生態系を理解しているか ・身近なところに生息する野生生物を把握し、保護することの必要性を理解しているか ・1 学期の復習を基にした作業（播種・鉢上げ・定植・間引き・中耕・土寄せ・追肥など）が定着しているか ・葉菜類の特性や必要な作業が理解できているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・植物の生育に応じて適切な栽培管理・生育調査を選択すること、作業することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・農業と環境の学習目的を理解し主体的・積極的に学習に取り組んでいるか	○	○	○	18
	2 章1：人間と植物・動物とのかかわり	・指導事項	【知識及び技能】				

	合計
	140

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

対象学年組：第 1 学年 H 組

教科 農業 の目標：

農業と情報 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用できるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	私たちの生活と農業の情報化□ 私たちの生活と農業の情報化について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。□ 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの生活と農業の情報化について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。□ 【学びに向かう力、人間性等】□ 私たちの生活と農業の情報化について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。□	・オリエンテーション ・パソコン室のルールを確認する。 ・パソコン使用のアカウントとパスワードを確認のうえ、起動と終了方法を確認する。 ・私たちの生活と農業の情報化 ・情報とメディア ・情報社会とモラル ・農業を支える情報	【知識及び技能】 コンピュータやインターネットのしくみについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータやインターネットのしくみについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータやインターネットのしくみについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査	授業内の小テスト		○	○		2
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 文書の作成と表現について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 文書の作成と表現について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 文書の作成と表現について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・情報表現のためのソフトウェア ・文書の作成と表現 教材：パソコン（一人1台端末の活用）	【知識及び技能】 文書の作成と表現について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 文書の作成と表現について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 文書の作成と表現について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
2 学 期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 データの集計と視覚化ならびにプレゼンテーションについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 データの集計と視覚化ならびにプレゼンテーションについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 データの集計と視覚化ならびにプレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・データの集計と視覚化 ・プレゼンテーション 教材：パソコン（一人1台端末の活用）	【知識及び技能】□ データの集計と視覚化ならびにプレゼンテーションについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。□ 【思考力、判断力、表現力等】□ データの集計と視覚化ならびにプレゼンテーションについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。□ 【学びに向かう力、人間性等】□ データの集計と視覚化ならびにプレゼンテーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。□ □ □ □	○	○	○	15
	スマート農業への展望 【知識及び技能】□ システム開発と設計ならびにプログラムの設計について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。□ 【思考力、判断力、表現力等】 システム開発と設計ならびにプログラムの設計について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。□ 【学びに向かう力、人間性等】 システム開発と設計ならびにプログラムの設計について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。□ □ □ □ □		【知識及び技能】 システム開発と設計ならびにプログラムの設計について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。□ 【思考力、判断力、表現力等】□ システム開発と設計ならびにプログラムの設計について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。□ 【学びに向かう力、人間性等】□ システム開発と設計ならびにプログラムの設計について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。□	○	○	○	11
	定期考査	授業内の小テスト		○	○		2
3 学 期	農業学習と情報活用 【知識及び技能】 農業学習とプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 農業学習とプロジェクト学習について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 農業学習とプロジェクト学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	・農業学習とプロジェクト学習 ・プロジェクト発表 ・教材：パソコン（一人1台端末の活用）	【知識及び技能】 農業学習とプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 農業学習とプロジェクト学習について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性等】 農業学習とプロジェクト学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査	授業内の小テスト		○	○		2
							合計
							70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	基本になる栽培管理技術 ・摘果の程度 着果数を制限することで残った果 実の肥大が促進されることを理解 する。 ・摘果の対象となる果実を識別で きる。 ・袋掛け 果実袋（大袋）の利用と果実品質 の効果を理解できる。	ナシ、ビワなどの果樹栽培の基礎	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	11
	・病害果の見分け（ナシの赤星 病、黒星病を見分ける力をつける。 ） ・収穫（ウメの収穫方法を理解す る。）	ナシ、ビワ、などの果樹栽培の基 礎 ウメの収穫方法、販売方法に関し て学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	14
	定期考査			○			1
2 学 期	基本になる栽培管理技術 ・品種ごとの収穫適期と糖度計、 カラーチャートなどを使用できる ようにする。 ・品種ごとの収穫の特徴を理解す る。 ・品種ごとの収穫適期を理解す る。	ナシやブドウ、カキの収穫方法、 販売方法に関して学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	14
	基本になる栽培管理技術 ・ナシやカキの施肥を行う。 1 果樹成長と果実生産 2 成長の特徴と果実生産 ・老木の抜根や苗木の植えつけ、 せん定などを通して理解する。	第3章_果樹の栽培管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	14
	定期考査			○			1
3 学 期	基本になる栽培管理技術 ・落葉果樹の整枝・剪定ができる ようする。 ・ナシの短果枝のせん定方法を習 得する。 ・ナシの中・長果枝のせん定方法 を習得する。 ・ナシの誘引を習得する。	来年度に向けたナシの栽培管理に ついて学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	14
	定期考査			○			1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 植物バイオテクノロジー

教 科： 農業 科 目： 植物バイオテクノロジー 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 農文協 植物バイオテクノロジー ）

教科 植物バイオテクノロジー の目標：

単元の目標：

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物バイオテクノロジーの教科書に基づき、基本的な技術や知識を習得する。	実習での積極性、正確性、技術力を高める。	継続的に取り組む姿勢や、実習での協力、観察力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・植物バイオテクノロジーの世界 ・植物バイオテクノロジーのおゆみと展望 ・植物バイオテクノロジーの原理 ・植物組織培養の基礎基本 ・施設、設備と機器、器具	・暮らしとバイオテクノロジー ・バイオテクノロジーの基礎技術 ・メス、ピンセットの使いかた ・培地作り ・目的にあった培地 ・初代培養、継代培養 ・無菌操作 ・機器の使い方	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	・植物バイオテクノロジーの世界 ・植物バイオテクノロジーのおゆみと展望 ・植物バイオテクノロジーの原理 ・植物組織培養の基礎基本 ・施設、設備と機器、器具	・暮らしとバイオテクノロジー ・バイオテクノロジーの基礎技術 ・メス、ピンセットの使いかた ・培地作り ・目的にあった培地 ・初代培養、継代培養 ・無菌操作 ・機器の使い方	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・植物バイオテクノロジーの実際 ・植物組織培養の基礎基本 ・施設、設備と機器、器具	・バイオテクノロジーの基礎技術 ・目的にあった培地 ・初代培養、継代培養 ・無菌操作 ・機器の使い方 ・ニンジンのカルス再生 ・カーネーションの茎頂培養	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	・植物バイオテクノロジーの実際 ・植物組織培養の基礎基本 ・施設、設備と機器、器具	・バイオテクノロジーの基礎技術 ・目的にあった培地 ・初代培養、継代培養 ・無菌操作 ・機器の使い方 ・セントポーリアの葉片培養 ・キクの花弁培養	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・植物バイオテクノロジーの実際 ・植物組織培養の基礎基本 ・施設、設備と機器、器具	・バイオテクノロジーの基礎技術 ・初代培養、継代培養 ・無菌操作 ・機器の使い方 ・ラン類の人工授精 ・順化の方法	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 草花

教科： 農業 科目： 草花 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版 草花 ）

教科 農業 の目標：

単元の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている

【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける ・経営の視点から見た商品としての草花についての知識とそれに対応する技術を身に付ける	・草花の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する能力を身に付ける	・草花生産が人々の生活を豊かにする素材を提供する社会的な役割を担っていることに興味を持ち、生産の楽しさ、経営の面白さを自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	6章4 キク 6章3 シクラメン 4章2 草花の繁殖方法：栄養繁殖 ・鉢ものの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る ・鉢ものの生産の特色を理解し、地域の環境や施設利用を考慮した生産計画を立てる ・鉢ものの品質管理、栽培技術の適否の評価を行い、商品価値を高める技術を習得する ・繁殖の意義および種子繁殖と栄養繁殖の特徴を理解する 定期考査	【教科書・大菊・シクラメン】 ・キク、シクラメンの生育特性と栽培管理 ・栄養繁殖（さし木）	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・鉢ものの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得できたか ・鉢ものの生産の特色を理解できたか ・鉢ものの品質管理、栽培技術、商品価値を高める技術を習得できたか ・繁殖の意義および種子繁殖と栄養繁殖の特徴を理解できたか ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○	○	11
	6章4 キク 6章3 シクラメン 4章3 草花の生育と土・水・肥料 4章3 草花の栽培管理 ・土壌や鉢土の養水分管理や病害虫管理、について理解し、適切な栽培技術を習得する ・草花の品質と草姿との関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する	【教科書・大菊・シクラメン】 ・キク、シクラメンの生育特性と栽培管理 ・栽培に適する土、土の性質、土の管理 ・肥料の成分と種類 ・施肥の方法 ・かん水方法	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・土壌や鉢土の養水分管理や病害虫管理、について理解し、適切な栽培技術を習得できたか ・草花の品質と草姿との関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	4章3 草花の栽培管理 ・自然環境と花芽分化の関係を理解し、生育環境の調節や成長調節物質を利用して開花期の調節ができることを学習する ・草花の品質と草姿の関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する	【教科書・大菊・シクラメン】 ・キク、シクラメンの生育特性と栽培管理 ・草姿と栽培管理 ・ケミカルコントロール ・病害虫の防除 ・雑草の除去 ●阿佐ヶ谷花壇植栽実習	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・自然環境と花芽分化の関係を理解し、生育環境の調節や成長調節物質を利用して開花期の調節ができることを理解できたか ・草花の品質と草姿との関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか				14
2 学期	定期考査			○	○		1
	4章3 草花の生育と栽培技術 2章1 草花園芸の特徴 3章2-2 園芸デザインの基本 ・鉢ものの品質管理、栽培技術の適否の評価を行い、商品価値を高める技術を習得する ・経営の視点から草花の需要の理解、それに応える技術の習得	【教科書・大菊・シクラメン】 ・キク、シクラメンの生育特性と栽培管理 ・植物の商品化 ・花壇デザインの基本演習、実施 ・花壇苗の植栽演習、実施 ●阿佐ヶ谷花壇植栽実習	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・鉢ものの品質管理、栽培技術、商品価値を高める技術を習得できたか ・草花の園芸デザインの基本を理解できたか ・商品としての草花の需要を理解し、それに応えようと工夫できたか ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○	○	14
3 学期	定期考査						
	4章3 草花の栽培管理 6章1 鉢ものの生産の経営 栽培管理の特色 6章3 花鉢ものの種類と特性 5章5 球根切り花の種類と特性 ・鉢ものの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る ・切り花生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する ・切り花栽培の作型・育苗管理、病害虫防除・施設・資材・収穫・出荷について理解する	【教科書・大菊・シクラメン】 ・キク、シクラメンの生育特性と栽培管理 ・球根植物の分類 ・花芽の形成時期 ・切り花の促成・抑制栽培 ・球根栽培	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・鉢ものの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得できたか ・切り花生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得できたか ・切り花栽培の作型・育苗管理・病害虫防除・施設・資材・収穫・出荷について理解できたか ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○		14
3 学期	定期考査			○	○		1

都立農芸 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 野菜

教 科： 農業 科 目： 野菜 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組

使用教科書：（ 実教出版 野菜 ）

教科 野菜 の目標：

単元の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
野菜の作型の選定をはじめとする栽培計画、各生育段階の特性に応じた栽培管理、各生育段階の診断方法に基づく栽培評価など野菜の栽培と経営についての知識と技能を身に付ける。	野菜の栽培における環境に合わせた作業体系、病害虫の予防、各植物の状況を把握した効果的な作業、生育調査のデータ化についての方法を身に付ける。	我が国の食料生産の観点から野菜栽培の重要性を理解するとともに安定的な供給が求められる現状を理解し、生産者に求められる資質を持ち合わせた人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○果菜類と葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ・ナスの栽培 ・ピーマンの栽培 ・ネギの栽培	・播種方法 ・育苗管理 ・鉢上げ ・圃場準備 ・定植 ・仕立て ・病害虫管理と対策 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	○果菜類と葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ・ナスの栽培 ・ピーマンの栽培 ・ネギの栽培	・病害虫管理と対策 ・着花習性 ・仕立てと誘引 ・ホルモン散布 ・果実と肥大 ・収穫作業 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	定期考査						2
2 学 期	○果菜類と葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ・トマトの栽培 ・タマネギの栽培 ・ブロッコリーの栽培	・播種方法 ・育苗管理 ・鉢上げ ・圃場準備 ・定植 ・仕立て ・病害虫管理と対策 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	○果菜類と葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ・トマトの栽培 ・タマネギの栽培 ・ブロッコリーの栽培	・病害虫管理と対策 ・着花習性 ・仕立てと誘引 ・ホルモン散布 ・果実と肥大 ・収穫作業 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	定期考査						2
3 学 期	○野菜の流通と経営についてのしくみと技術を身に付ける。	・流通のしくみ ・鮮度を保つ技術 ・加工・業務用野菜 ・生産の経営改善	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	8
	定期考査						2

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科： 農業 科目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版「野菜」「草花」、農文協「果樹」 ）

教科 総合実習 の目標：

単元の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・農具、農機具の安全な使い方を理解し実習できる。 ・鉢上げ用の用土をつくるができる。 ・トマト、キュウリ、ナシの苗管理ができる。 ・ナシやウメなどの良果生産ができる。	・園地内の草刈り ・用土づくり ・夏野菜苗の管理 ・果樹の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	20
	定期考査						1
	・摘果の目的、方法について理解し実習を行うことができる。 ・植栽の準備を行うことができる。 ・トマト、ナス、キュウリの誘引と仕立てをすることができる。	・摘果実習 ・花壇材料の管理 ・夏野菜の管理実習	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	20
	定期考査						1
2 学期	・果実の収穫、調整ができる。 ・花壇材料の播種と鉢上げを行うことができる。 ・根菜類、葉菜類の播種ができる。	・果実の収穫、調整 ・花壇材料の管理 ・秋野菜の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	20
	定期考査						1
	・果樹の樹勢を把握して、土壌管理ができる。 ・鉢替えをすることができる。 ・葉菜類、根菜類の収穫期を判断して収穫することができる。	・果樹の施肥、深耕 ・鉢花管理 ・野菜の収穫	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	22
	定期考査						1
3 学期	・果樹の樹勢を把握して、せん定ができる。 ・草花温室の片付けができる。 ・栽培後の畑の管理ができる。	・果樹のせん定 ・温室の管理 ・野菜圃場の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	18
	定期考査						1

都立農芸高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業

科目 園芸技術

教科：農業

科目：園芸技術

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ 組

使用教科書： （ 実教出版社 草花 他 ）

教科 園芸技術

の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ

科目 園芸技術

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・古典菊、ラン類、観葉植物の生産について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	・草花の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する能力を身に付ける。	・草花の生産が人々の生活を豊かにする素材を提供する社会的な役割を担っていることに関心を持ち、生産の楽しさ、経営の面白さを自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・ハーブ、草花、古典菊、の生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る。 ・ハーブ、草花、古典菊の特色を理解し、施設利用を考慮した生産計画を立てる。 ・ハーブ、草花、古典菊の品質管理、栽培技術の適否の評価を行い、盆栽の価値を高める技術を習得する。	・本校で育成中の草花の管理。 ・土壌の調合 ・植物ホルモンの取り扱い ・繁殖方法と実際	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・草花の維持管理に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得できたか。 ・草花の特色を理解できたか。 ・草花の品質管理、栽培技術、商品価値を高める技術を習得できたか。 ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
2 学期	古典菊、観葉植物、草花の栽培管理 ・土壌や鉢土の養水分管理や病害虫管理、について理解し、適切な栽培技術を習得する。 ・草花の品質と草姿との関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する。	【教科書・古典キク・季節の草花】 ・古典キク及び季節の草花、観葉植物の生育特性と栽培管理 ・栽培に適する土、土の性質、土の管理 ・肥料の成分と種類 ・施肥の方法 ・かん水方法	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・古典キク及び季節の草花、観葉植物の品質管理、栽培技術、商品価値を高める技術を習得できたか。 ・育種の目的と草花分野における品種改良の方法と手順を理解できたか。 ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか。	○	○	○	31
	定期考査			○	○		1
3 学期	ラン類について ・ランの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る。 ・ランの特色を理解し、施設利用を考慮した生産計画を立てる。 ・ランの品質管理、栽培技術の適否の評価を行う。	【教科書・ファレノプシス・デンドロビウム・シンビジウム】 ・ファレノプシス、デンドロビウム、シンビジウムの栽培管理 ・草花が果たす都市における緑化の役割について学習する。	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・ファレノプシス、デンドロビウム、シンビジウムの栽培管理技術を習得できたか。 ・草花が果たす都市における緑化の役割について理解できたか。	○	○	○	7
	学年末考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	基本になる栽培管理技術 ・摘果の程度 着果数を制限することで残った果 実の肥大が促進されることを理解 する。 ・摘果の対象となる果実を識別で きる。 ・袋掛け 果実袋（大袋）の利用と果実品質 の効果を理解できる。	ナシ、ビワなどの果樹栽培の基礎 ブドウの栽培管理について学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	16
	基本になる栽培管理技術 ・芽かき 樹勢を考えて、芽かきができる。 ・新梢管理 受光態勢を考えて、新梢を誘引・ 摘心できる。 ・果房管理 適切な果粒を選んで房づくりがで きる。	ナシ、ビワなどの果樹栽培の基礎 ブドウの栽培管理について学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	21
	定期考査			○			1
2 学 期	基本になる栽培管理技術 ・収穫 収穫適期の果房を見極めることが できる。 ・挿し木 適切な穂木を選び、挿し木ができ る。	ブドウの収穫方法、販売方法に関 して学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	21
	基本になる栽培管理技術 ・土壌管理 今年のブドウの生育を分析し、深 耕や施肥などの必要な土壌管理が できる。	ブドウの収穫方法、販売方法に関 して学ぶ カキやクリの収穫方法、販売方法 に関して学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	27
	定期考査			○			1
3 学 期	・研究成果・要旨をWordで仕様通 りに作成・印刷・提出する。 ・研究成果をPowerpointでまと め、発表の準備を行う。 ・課題研究発表会で成果発表を行 う。	ブドウやカキのせん定方法につい て学ぶ	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	18
合計							105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 植物バイオテクノロジー

教 科： 農業 科 目： 植物バイオテクノロジー 単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年 H 組～ 組
教科担当者： H組：宮村 A組： B組： E組：
使用教科書：（ 農文協 植物バイオテクノロジー ）
単元の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物バイオテクノロジーの教科書に基づき、基本的な技術や知識をもとにさらに技術の習得を目指す。	実習での積極性、正確性、技術力を高める。	継続的に取り組む姿勢や、実習での協力、観察力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・植物組織培養の基礎基本 ・継代培養の実際 ・生育状況の判断と段階にあった培地の組成 ・SDGsとバイオテクノロジー（キノコの培養） ・施設、設備と機器、器具 ・無菌播種（ラン類） ・花弁培養の実際 ・バイオ検定初級	・2年次での培養植物の継代 セントポーリア、ストレプトカーパス キク、ファレノプシス等 ・無菌播種から順化まで ・段階に応じた培地作り ・無菌操作（ガスバーナー含む） ・機器の使い方 ・滅菌方法の応用 ・バイオ検定初級	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	・植物組織培養の基礎基本 ・継代培養の実際 ・生育状況の判断と段階にあった培地の組成 ・SDGsとバイオテクノロジー（キノコの培養） ・施設、設備と機器、器具 ・無菌播種（ラン類）	・2年次での培養植物の継代 セントポーリア、ストレプトカーパス キク、ファレノプシス等 ・無菌播種から順化まで ・段階に応じた培地作り ・無菌操作（ガスバーナー含む） ・機器の使い方 ・滅菌方法の応用	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・植物組織培養の基礎基本 ・継代培養の実際 ・生育状況の判断と段階にあった培地の組成 ・SDGsとバイオテクノロジー（キノコの培養） ・施設、設備と機器、器具 ・無菌播種（ラン類） ・花弁培養の実際 ・生長点培養の実際	・2年次での培養植物の継代 セントポーリア、ストレプトカーパス キク、ファレノプシス等 ・無菌播種から順化まで ・段階に応じた培地作り ・無菌操作（ガスバーナー含む） ・機器の使い方 ・滅菌方法の応用 ・キクの花弁培養 ・ラン類の生長点培養	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	・植物組織培養の基礎基本 ・継代培養の実際 ・生育状況の判断と段階にあった培地の組成 ・SDGsとバイオテクノロジー（キノコの培養） ・施設、設備と機器、器具 ・無菌播種（ラン類） ・花弁培養の実際 ・生長点培養の実際	・2年次での培養植物の継代 セントポーリア、ストレプトカーパス キク、ファレノプシス等 ・無菌播種から順化まで ・段階に応じた培地作り ・無菌操作（ガスバーナー含む） ・機器の使い方 ・滅菌方法の応用 ・キクの花弁培養 ・ラン類の生長点培養	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・継代培養の実際 ・生育状況の判断と段階にあった培地の組成 ・ラン類の栽培管理 ・ラン類の人工授精、ラン類の栽培管理	・無菌操作撤退 ・ラン類の人工授精 ・キノコ培養の成果と技術的課題 ・ラン温室の栽培管理	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・授業態度が良いか ・プリント、ノートがよく記入できているか ・実習ではよく協力できていたか ・器具や機器の操作が正しくできているか ・無菌操作が正しくできているか	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 草花

教科： 農業 科目： 草花 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版 草花 ）

教科 農業 の目標：

単元の目標：

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている
- 【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・草花の色や形、利用場面で異なる装飾的特性と切り花苗、花壇苗等の品種特性や栽培特性を体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける	・草花における装飾的特性やそれに伴うデザインを理解するとともに、現場や品種特性に配慮した植栽について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する能力を身に付ける。	・草花生産が人々の生活を豊かにする素材を提供する社会的な役割を担っていることに関心を持ち、生産の楽しさ、経営の面白さを自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	6章1 花壇苗用草花生産 6章2 花壇苗用草花栽培 4章3 アスター、その他の切り花一・二年草 5章3 鉢花 2章2 園芸デザイン ・花壇苗用草花に利用される花材の特性や需要について理解する ・花壇苗用草花の今後の課題について理解する ・花壇苗用草花の栽培について必要な技術を理解し、習得する ・花壇苗で使用する花材の品種的特性を理解する ・造形美と自然美を理解する 定期考査	【教科書・切り花・花壇苗用草花】 ・アスターやナデシコの生育特性と栽培管理 ・ケイトウや観賞用唐辛子等の生育特性と栽培管理 ・花壇植栽の演習 ・花壇デザインの演習	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・鉢もの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得できたか ・鉢もの生産の特色を理解できたか ・鉢ものの品質管理、栽培技術、商品価値を高める技術を習得できたか ・繁殖の意義および種子繁殖と栄養繁殖の特徴を理解できたか ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○	○	9
	6章1 花壇苗用草花生産 6章2 花壇苗用草花栽培 4章3 アスター、その他の切り花一・二年草 5章3 鉢花 2章2 園芸デザイン ・造形美と自然美を理解する ・花壇デザインについて理解する ・出荷に向けた開花調節・苗の選別・個数管理・植栽資材の管理、準備ができる。 ・クラスメイトと協力して植栽実習に取り組むことができる 定期考査	【教科書・切り花・花壇苗用草花】 ・アスターやナデシコの生育特性と栽培管理 ・ケイトウや観賞用唐辛子等の生育特性と栽培管理 ・花壇デザインの演習、実施 ・花壇植栽の演習、実施 ●都庁花壇植栽実習	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・土壌や鉢土の養水分管理や病害虫管理、について理解し、適切な栽培技術を習得できたか ・草花の品質と草姿との関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	6章1 花壇苗用草花生産 6章2 花壇苗用草花栽培 4章3 その他の切り花一・二年草 5章3 鉢花 2章2 園芸デザイン ・花壇苗用草花に利用される花材の特性や需要について理解する ・花壇苗用草花の今後の課題について理解する ・花壇苗用草花の栽培について必要な技術を理解し、習得する ・花壇苗で使用する花材の品種的特性を理解する 定期考査	【教科書・切り花・花壇苗用草花】 ・カスミソウやスターチス等の生育特性と栽培管理 ・パンジーやシロタエギク等の生育特性と栽培管理 ・花壇植栽の演習 ・花壇デザインの演習	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・自然環境と花芽分化の関係を理解し、生育環境の調節や成長調節物質を利用して開花期の調節ができることを理解できたか ・草花の品質と草姿との関係を理解し、高品質な草花生産に必要な栽培管理技術の基礎を習得する ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○		14
	6章2 花壇苗用草花栽培 4章3 その他の切り花一・二年草 5章3 鉢花 2章2 園芸デザイン 3章2 品種改良と繁殖 ・出荷に向けた開花調節・苗の選別・個数管理・植栽資材の管理、準備ができる。 ・クラスメイトと協力して植栽実習に取り組むことができる ・一代雑種雑種品種、草花の繁殖方法を理解する ・品種改良の目的、方法を理解する 定期考査	【教科書・切り花・花壇苗用草花】 ・カスミソウやスターチス等の生育特性と栽培管理 ・パンジーやシロタエギク等の生育特性と栽培管理 ・花壇植栽の演習、実施 ・花壇デザインの演習、実施 ・草花の繁殖方法 ●都庁花壇植栽実習	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・鉢ものの品質管理、栽培技術、商品価値を高める技術を習得できたか ・育種の目的と草花分野における品種改良の方法と手順を理解できたか ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○	○	14
	定期考査						
3 学 期	3章3-2 草花の栽培管理 7章1 生産の流通と改善 ・草花の生育環境を理解し、適切に管理する技術を身に付ける ・現代農業の病害虫防除について理解し、持続的な技術を習得する ・草花生産の諸問題を把握し、その改善方法について考える ・新しい生産体系の意義を理解する 定期考査	【教科書・切り花・花壇苗用草花】 ・カスミソウやスターチス等の生育特性と栽培管理 ・パンジーやシロタエギク等の生育特性と栽培管理 ・病害虫防除 ・草花生産における栽培環境の管理	【授業プリント・実習レポート・実習態度・考査】 ・鉢もの・切り花栽培の作型・育苗管理・病害虫防除・施設・資材・収穫・出荷について理解できたか ・草花生産の諸問題に向けて解決策を考え、具体的な方法を見いだせたか ・クラスメイトと協力して実習に取り組み、主体的に行動することができたか	○	○		16
	定期考査			○	○		1

都立農芸 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 農業 科目 野菜

教 科： 農業 科 目： 野菜 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組

使用教科書：（ 実教出版 野菜 ）

教科 野菜 の目標：

単元の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
野菜の作型の選定をはじめとする栽培計画、各生育段階の特性に応じた栽培管理、各生育段階の診断方法に基づく栽培評価など野菜の栽培と経営についての知識と技能を身に付ける。	野菜の栽培における環境に合わせた作業体系、病害虫の予防、各植物の状況を把握した効果的な作業、生育調査のデータ化についての方法を身に付ける。	我が国の食料生産の観点から野菜栽培の重要性を理解するとともに安定的な供給が求められる現状を理解し、生産者に求められる資質を持ち合わせた人間性を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○果菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ・スイカの栽培 ・カボチャの栽培 ・ズッキーニの栽培 ・トマトの栽培	・播種方法 ・育苗管理 ・鉢上げ ・圃場準備 ・定植 ・仕立て ・病害虫管理と対策 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	○果菜類と葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ・スイカの栽培 ・カボチャの栽培 ・ズッキーニの栽培 ・トマトの栽培	・病害虫管理と対策 ・着花習性 ・仕立てと誘引 ・ホルモン散布 ・果実と肥大 ・収穫作業 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	定期考査						2
2 学 期	○葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ○六次産業化の学習を通じて流通や販売の体系的な知識を身に付ける。 ・レタスの栽培 ・ブロッコリーの栽培	・播種方法 ・育苗管理 ・鉢上げ ・圃場準備 ・定植 ・仕立て ・病害虫管理と対策 ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	○葉菜類の栽培に関する基礎的知識と基本的な作業を身に付ける。 ○各野菜に適した圃場準備や仕立てなどの栽培方法を身に付ける。 ○六次産業化の学習を通じて流通や販売の体系的な知識を身に付ける。 ・レタスの栽培 ・ブロッコリーの栽培	・病害虫管理と対策 ・仕立てと誘引 ・結球 ・収穫作業 ・出荷調整 ・販売POP ・生育調査とデータ管理	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	14
	定期考査						2
3 学 期	○3年間の学習を振り返り、野菜の特性に合わせた栽培特性や品種選び作型についてを身に付ける。	・野菜の特性 ・野菜の品種 ・野菜の作型 ・促成栽培と抑制栽培	目標の理解、作業手順の理解と実行と判断、作業に取り組む姿勢、ノート・レポート等へのまとめとデータ化	○	○	○	8
	定期考査						2

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 農業 科目 課題研究

教 科： 農業 科 目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版「野菜」「草花」「植物バイオテクノロジー」、農文協「果樹」 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・テーマ設定の意義・目標及び方法を理解することができる。 ・関連知識を深化させることができる。 ・学習方法・新しい知識を体得し、課題解決の方法を理解することができる。	・全体的な大仮説（予想）を立てることができる。 ・年間計画・学期・月別計画の立案が十分できる。 ・計画に基づいた実践ができ、記録をすることができる。	・積極的に取り組み、成就させようとすることができる。 ・創造的態度で課題解決にあたることができる。 ・工夫してまとめ上げる努力をすることができる。 ・実施結果を見て、効力感を持ち、次の課題を解決しようと思えることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・テーマに沿った計画がたてる。 ・研究を計画的に進められるように、植物・器具・使用場所等を、適切に準備する。 ・計画どおりに実行する。 ・毎時記録をとる。 ・次回の活動予定を確認する。	研究活動 年間計画の確認	研究への意欲・関心 調査・記録の主体的取り組み 記録レポート	○	○	○	17
	定期考査						
	・計画どおりに実行する。 ・毎時記録をとる。 ・次回の活動予定を確認する。 ・学期のまとめをWordで仕様通りに記入、印刷できるようにする。	研究活動 1 学期の研究活動のまとめ	研究への意欲・関心 調査・記録の主体的取り組み 記録レポート 中間報告書	○	○	○	23
	定期考査						
2 学 期	・計画どおりに実行する。 ・毎時記録をとる。 ・次回の活動予定を確認する。	研究活動	研究への意欲・関心 調査・記録の主体的取り組み 記録レポート	○	○	○	20
	定期考査						
	・計画どおりに実行する。 ・毎時記録をとる。 ・次回の活動予定を確認する。 ・収集したデータをExcelでまとめ、適切な表やグラフに加工する。 ・学期のまとめをWordで仕様通りに記入・印刷・提出する。 ・Powerpointで発表の骨子を作成する。	研究活動 2 学期の研究活動のまとめ	研究への意欲・関心 調査・記録の主体的取り組み 記録レポート 最終報告書	○	○	○	27
	定期考査						
3 学 期	・研究成果・要旨をWordで仕様通りに作成・印刷・提出する。 ・研究成果をPowerpointでまとめ、発表の準備を行う。 ・課題研究発表会で成果発表を行う。	研究活動のまとめ 発表に向けた準備 発表	発表への意欲・関心 要旨・スライド作成の主体的取り組み 要旨 発表スライド	○	○	○	18
							合計 105

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教 科： 農業 科 目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ 組

使用教科書：（ 実教出版「野菜」「草花」「植物バイオテクノロジー」、農文協「果樹」 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・農具、農機具の安全な使い方を理解し実習できる。 ・季節の切り花などを用いて、フラワーアレンジメントができる。 ・トマト、キュウリ、ナシの苗管理ができる。 ・ナシやウメなどの良果生産ができる。	・園地内の草刈り ・行事と花、ワイヤリング・テーピング、ブーケ、コサージュ ・夏野菜苗の管理 ・果樹の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	12
	定期考査			○			1
	・摘果の目的、方法について理解し実習を行うことができる。 ・季節の切り花などを用いて、フラワーアレンジメントができる。 ・トマト、ナス、キュウリの誘引と仕立てをすることができる。	・摘果実習 ・ブーケ、コサージュ ・夏野菜の管理実習	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	12
	定期考査						1
2 学 期	・果実の収穫、調整ができる。 ・季節の切り花などを用いて、フラワーアレンジメントができる。 ・根菜類、葉菜類の播種ができる。	・果実の収穫、調整 ・ブーケ、コサージュ ・秋野菜の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	16
	定期考査						1
	・果樹の樹勢を把握して、土壌管理ができる。 ・季節の切り花などを用いて、フラワーアレンジメントができる。 ・葉菜類、根菜類の収穫期を判断して収穫することができる。	・果樹の施肥、深耕 ・ブーケ、コサージュ ・野菜の収穫	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	16
	定期考査						1
3 学 期	・果樹の樹勢を把握して、せん定ができる。 ・季節の切り花などを用いて、フラワーアレンジメントができる。 ・栽培後の畑の管理ができる。	・果樹のせん定 ・ブーケ、コサージュ ・野菜圃場の管理	単元の理解度、技術 実習への取り組み（出席状況、忘れ物等） レポート	○	○	○	9
	定期考査						1
							合計 70

備考：他1単位(総合実習B)を時間外で35時間行う。